

令和4年度 第2回埼玉県公立大学法人埼玉県立大学評価委員会 議事録

日 時 令和4年8月26日（金）午後3時00分～午後3時40分

開催方法 WEB会議

出席委員 川又委員長、菊池委員、廣澤委員、細谷委員

県側出席者 保健医療政策課副課長 ほか

○ 次 第

1 開 会

2 議 事

(1) 公立大学法人埼玉県立大学の令和3年度業務実績評価について

(2) 公立大学法人埼玉県立大学の第2期中期目標期間業務実績評価について

3 閉 会

○ 結 果

1 開 会

(定足数の充足)

評価委員会規則第5条第2項に規定する定足数（委員の過半数の出席）を満たし、会議が成立していることを確認した。

(会議の公開)

評価委員会規則第7条に基づき、会議の公開を決定した。（傍聴者なし）

2 議 事

【議事（1）（2）説明】

- ・ 事務局から「公立大学法人埼玉県立大学令和3年度業務実績評価書（案）」及び「公立大学法人埼玉県立大学第2期中期目標期間業務実績評価書（案）」について資料に基づき説明。

【質疑等（意見含む）】

川又委員長:今回は最終的に目標に達しなかったということで、県内就職率の問題がある。

国立大学法人と単純に比較することは難しいと思うが、文部科学省が設置をした国立大学法人の評価については国立大学法人評価委員会というものがあり、その国立大学法人評価委員会では各法人がそれぞれの特色を伸ばすため、1点目は意欲的な評価指標を設定するということを求め、他方では法人がこれまでやってきた実績からすると少し意欲的に高めの評価指標の目標値を設定した場合には、最終的にそこに届かなかったとしても、届かなかったということだけをもってマイナス評価にはしないという考え方を出している。県内就職率については少し事務局とも議論をしたが、国立大学法人が全国を相手にしているのとは違い、県立大学の場合は県民の税金で県のために設置された大学ということを考えると、埼玉

県に人材を輩出していくということは県立大学として非常に重要な使命だろうということもあり、この県内就職率の数字については、少し厳しいところがあるかもしれないが、この目標値はぜひ達成して欲しいという期待も込めて、今回は合格点とはしなかったという考え方で、概ね順調をいう評価になっている。それは、法人は頑張っており、県内就職率も少し上向き加減であるので、これを是非、目標が完全に達成するようにという期待を込めて、事務局と話をしてこのような形で評価をまとめているところである。

菊池委員：今、総括として最初のところの評価が期待を込めて3になっているということをお話いただいた。今回、この評価に当たっては、コロナ禍という大変な状況があったけれども、コロナ禍だからといってそこを加減して評価するというのではなく、コロナ禍でいろいろと大変な状況があったけれども、これまでと同じ評価基準で評価したということの一つまず確認をした。また、全体的に着実に進んでいる中で、5の評価をもらえてもいいのではないかなと思うような項目もあるが、5段階評価の5というのが、かなり特筆すべき取組があるということが盛り込まれている中の評価であろうかというふうに私自身は理解しているところである。県内就職率については、今、委員長からお話いただいたようなことだと、私も共感している。今回、第2期の評価ということで平成28年から令和3年度の総括であったということだが、県立大学は第2期に入る前の年に大学院の後期課程を設置しており、この第2期においては学部、博士前期課程、博士後期課程という一貫した教育体制が作られ、展開された期間であったと思う。そういった中で、日本ではなかなか進んでいないリカレント教育を標榜して取り組まれていることは、県立大学ということのみならず、日本の高等教育機関ということからしても、その取組に大変期待のかけられるところで、その成果を着実にこの期間で積んでこられたというふうに感じている。それから、先ほど県立大学ということでの、この評価書という特色などもご指摘いただいたところだが、それは県民に対する説明責任ということで、この評価委員会の一つの役割とも認識している。そういう中で、それだけではなく評価書の中に、自己点検というところで大学認証評価のことも触れられており、特に教育の内部質保証が今後重要になってくると思うが、着実に進められているという評価が盛り込まれていたのも、その点も確認できたことは大変良かったと思っている。

川又委員長：評価書の特に関全体評価について漏れがなく反映されているとの発言をいただいた。

【議決】

- ・「公立大学法人埼玉県立大学令和3年度業務実績評価書（案）」及び「公立大学法人埼玉県立大学第2期中期目標期間業務実績評価書（案）」のとおり可決。

【通知・意見書】

- ・知事及び法人への通知文の案を了承。

【本日の委員会議事録】

- ・メール等で各委員が確認・了解した上で、委員長が最終決定することとした。

3 閉会